

2016年1月26日
一般社団法人保健医療福祉情報安全管理適合性評価協会

「医療情報連携において、SNSを利用する際に気を付けるべき事項」
の掲載にあたって

昨今、情報共有での便利なツールとして、Social Network Service(以降 SNS)が普及してきています。

通常はコミュニティ型の会員制サービスとして Web サイトによって提供され、仲間を指定しメッセージを送信すると、手軽にかつリアルタイムに情報共有でき、連絡手段として重宝されています。医療・介護情報連携ネットワークへの活用も期待されています。

ただし、SNSの利用において、アカウントのなりすまし、意図しないページやアプリへの誘導により詐欺等を狙った攻撃、アクセス権等のプライバシー設定が不完全であることによる情報漏えい等が起こっている例もあることから、注意した上で利用する必要があります。特に医療情報連携において SNS を利用する場合、共有すべき情報が患者に関する個人情報や医療情報、生活情報であったりすることから、利用する SNS について正しい知識を持った上で、利用や運営をすべきです。

そこで、当協会では、医療情報連携において SNS を利用する際に気を付けるべき事項についてまとめました。

皆様のご参考になれば幸いです。